

1年デザイン（MYP デザイン）【家庭科：1単位】

科目のねらい

- デザインするプロセスを楽しみ、その優雅さとパワーを知ること
- さまざまな学習分野の知識、理解、スキルを深め、デザインサイクルを用いて問題に対するソリューションをデザインし、制作すること
- 情報の入手・処理・伝達、ソリューションのモデル化と制作、および問題解決の手段として、効果的に技術を活用、応用すること
- デザインの革新が生活、グローバル社会、環境にもたらす影響への認識を深めること
- それぞれの文化的、政治的、社会的、歴史的、そして環境的な文脈において、過去、現在、未来のデザインを認識すること
- 他者の視点を尊重することを覚え、問題の解決にはいくつもの方法があることを認識すること
- 誠実さと正直さをもって活動し、自らの行動に責任をもつことで、効果的な仕事の進め方を覚えること

目標および評価規準

A 探求と分析

- 【A i】課題解決の必要性を説明し、その妥当性を示すこと
- 【A ii】課題解決のために必要とされるリサーチの主要な点を述べ、優先順位をつけること
- 【A iii】課題解決のヒントとなる、ひとつの既存製品の主要な特長を詳しく述べる
- 【A iv】先行研究の主な結果を提示すること

B アイデアの発展

- 【B i】ソリューションの成功条件の一覧表を作成すること
- 【B ii】他者が正しく解釈できる、実現可能なデザイン案を作成すること
- 【B iii】選択したデザインを提示すること
- 【B iv】選択したソリューションを制作するための主要な点を簡単に記したスケッチや図案を作成すること

C ソリューションの製作

- 【C i】時間やリソースを無駄なく使い、他の生徒もそれを見てソリューションが制作できるような計画について簡単に述べること
- 【C ii】ソリューションの制作にあたり、優れた技術的スキルを示すこと
- 【C iii】意図した通りに機能し、適切に提示されたソリューションを、計画に従って作成すること
- 【C iv】ソリューションの制作にあたり、選択したデザインや計画に変更を加えた部分を列挙すること

D 評価

- 【D i】ソリューションの効果を評価するためのデータを生成する、簡単に適切なテスト方法をデザインすること
- 【D ii】効果の測定結果を設計仕様書と付き合わせて、ソリューションの効果を簡単に述べること
- 【D iii】ソリューションをどのように改善できるかを簡単に述べること
- 【D iv】ソリューションが顧客やターゲット層に及ぼす影響を簡単に述べること

年間計画

時期 前・後	Unit No.	重要概念	関連概念	グローバル な文脈	ATLスキル	総括的評価 課題	評価規準（ストラ ンドまで書く）
前	1	コミュニティー	ものの見方	アイデンティティと関係性	自己管理スキル 情動スキル	R80	A i D iii
前・後	2	コミュニティー	形	アイデンティティと関係性	思考スキル 創造的思考スキル	自分の名札の製作 記述成果物	A i ii iii iv B i ii iii iv C i ii iii iv D i ii iii iv
後	3	コミュニティー	ものの見方	空間的・時間的位置づけ	社会性スキル 協働スキル	記述成果物	A i ii iii iv B i ii iii iv C i ii iii iv D i ii iii iv